

川島元次郎 かわしま げんじろう 國史學者。明治十年京都生れ、大正十一年十一月十日歿（一八七七一—一九二二）。検定試験を経て小學校教員となり、苦學の末大正元年京都帝國大學史學科卒。在學中の明治四十二年、大阪朝日新聞一萬號記念懸賞募集に応募した史傳『徳川初期の海外貿易家』（大正五年十月十五日大阪・朝日新聞合資會社。のち増補改題『朱印船貿易史』大正十年刊、改裝版・昭和十五年三月二十日大阪・巧人社）が一等當選した。京都市第一商業學校校長から大正八年長崎高等商業學校に轉任、また長崎市から市史編纂委員に、縣からは史蹟名勝天然記念物調査と囑託せられるなど、自らの長崎を中心とした海外交渉史研究を進めるのに絶好の位置を得たが、志業半ばで歿した。

其父弟滿川龜太郎編の遺著『南國史話』（大正十五年五月一日平凡社）がある。

